



シモマツチの 校長随想

～教育は過去からの贈り物、そして未来へのメッセージ～

下町壽男 前岩手県立花巻北高等学校長

第6回

成績向上を支えるベース

□「向」と「優」

花巻北高校では、センター試験100日前に、3年生の代表生徒が、漢字一文字で決意を表明するという習慣があります。昨年、ある生徒が選んだのは「向」でした。その生徒は「向」に三つの意味づけをします。一つは、向上心を持って成績を向上させること。二つ目は「向き合う」ということ。それは、机に向き合って勉強するだけではなく、自分と向き合い、自分を見つめる機会を持つという意味もこめていました。そして、三つ目は、「向いにいる人への感謝」でした。

「優」という字を選んだ生徒もいました。彼女は、優秀な成績をあげたいという思いとともに、もう一つ別の意味について語ってくれました。それは、「優」には優しいという意味があり、さらに、その中に「憂」という字が隠れているという話でした。彼女はこう言いました。「自分はこれまで挫折を経験し、悔しい思いもしてきました。そんな時、周囲の優しさに救われた。『憂い』を

『優し』によってささえてくれる周りの人への感謝の気持ちを表したくて、この字を選んだ」

2人に共通するのは、成績を向上させ成果をあげるためには、他者との関わりの中で、感謝や、優しさを持つことが大切さだという思いを持っていることです。

□根底にある「人への感謝」

話は変わりますが、昨年、勤務校が修学旅行でお世話になった京都のある老舗旅館から素晴らしい西陣織の壁掛けが送られてきました。びっくりして添えられていた手紙を読んだら、実は宿泊していたある生徒たちのグループが、旅館の方へのお礼のお手紙を部屋に残していたというのです。旅館の方が、その行為に感動して、お礼の印として送ってくださったのです。

私はこのエピソードに二つの感動を覚えました。一つは、本校の生徒の心遣いの素晴らしさです。部活動でも習慣的に行っていたそうなのですが、こうやって、思いをきちんと表現して伝えられることが素晴らしい

しい。

そして、もう一つの感動は、旅館の方々に対するものです。ささやかな一通の手紙に、このような応対をしてくださることに、さすが一流の旅館とはこういう旅館をいうのだな、と思ったのでした。

私はこの話と、先ほどの「向」「優」の漢字を選んだ生徒の話にはつながるところがあると感じています。普通は、成績を上げるためには、ひたすら問題を解き、テストや、講習を受ける、ということを考えるでしょう。

そして、「優しさ」とか「感謝」は直接偏差値の向上には関係ないものだと思う人もいるかもしれませんが。そんなセンチメンタリズムよりも、知識を徹底的に叩き込んでいくことを考えるべきだ、と。しかし、私はそのような視野狭窄的にしか成績の向上を考えられない人は二流の受験生であり、本当の意味で骨太の学力は身につけていないと思っています。

あの漢字を選んだ2人の生徒が取り上げた「優しさ」や「人への感謝」とは、いわ

ば成績向上を支えるベースです。優しさや、感謝の心の大切さを知る人間は、相手を高めることで自分の能力が磨かれることを知っています。そして、そのような情緒が育つことによって、「気づき」の感度が高まり、本質をつかむ力、学び続ける力が培われていくはずですよ。

さらに言うと、優しさや感謝の心を持つことは、世の中の理不尽に立ち向かう勇氣にもなると思うのです。

□ 旅館から学んだホスピタリティ

旅館の話に戻します。旅館は企業ですから、利益を上げ事業を継続発展させることが目的です。であるなら、企業はひたすら利益の最大化、リスクの最小化を目指しながら、システムやマニュアルを最適なものと追求していくことになるでしょう。でもそれが必要十分なのでしょうか。

もしかすると、それが加速され、「結果を出す」という大義名分だけがまかり通っていくことで、思考が止まり、本質を見失ってしまうかもしれません。なぜなら、過度

なマニュアル化は「それさえやっていればよい」「自分の役割以外はやらない」「自分の責任範囲を絞り込む」という文化を生み出す危険性があるからです。

企業が利益を追求するためには、ノウハウやシステムの前に「企業としての理念」をいかに堅持しているかが問われると思います。これが、実は事業が健全に発展することにつながっていくわけです。

私とその旅館を一流だと感じたのは、職場全体がホスピタリティマインドにあふれ、思いを行動によって表現する姿勢が貫かれていると思ったからです。多分、営利的には「やらなくてもいいこと」を、あえて「だからこそやる」という姿に、私は、彼らの真つ当で純正な意気込みを感じ、心が動かされたのです。

勉強で成績を上げて結果を残すことと、企業が業績を上げること、両者に通底するのは何であるか。「向」「優」の漢字を選んだ生徒の言葉と、京都の旅館のメッセージから私は大きな学びを得ることができました。